# 同窓会報 椎の樹

2015.4.10 第29号
発行所　群馬県立高崎女子高等学校
同　窓　会
〒370-0062 高崎市稲荷町 20
電話(027)362-2585
発行責任者 村 田 喜 代 子
印　　刷 株式会社 精真社

**わたしたちの同窓生**
《母校創立116周年》
会員数　33,124名
平成27年4月10日　現在

## 素晴らしき哉 高女！

同窓会長45期
**村田喜代子**

同窓会の皆様お健やかにお過ごしの事とお慶び申し上げます。平成26・27年度の新役員のもと、26年度行事については無事済みました事をご報告致します。5月1日の総会後は、毎年バラエティに富んだ講師をお招きし大変好評でございました。27年度は狂言方大蔵流・人間国宝の山本東次郎先生の講演をお願いしております。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。また新しい会員名簿がお手許に届いた事と存じます。24年11月から26年6月迄の長期間名簿委員さんのご努力の賜物です。達筆なる金文字が眞赤な表紙にマッチし、会員数の多さの重みと名簿にこめられた会員の皆様の母校に対しての愛を痛感しております。在校生も多方面に活躍しております。昨年10月の高崎マーチングの日、高女吹奏楽部76名が街角コンサートに参加しましたが演奏は勿論、態度も立派で胸に熱いものがこみあげ幸せを感じました。あらゆる部門に活躍している同窓生の話を聞く度に、高女の素晴らしさを再確認致します。どうぞこれからも同窓会へのお力添えを、よろしくお願い致します。皆々様のお幸せをお祈り申し上げご挨拶にさせて頂きます。

## 活気ある高女

校長
**尾池　武**

高女同窓会会員の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より母校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただき、誠に有り難うございます。平成26年度は、教室棟の耐震工事や屋上の防水工事などがありましたが、順調に終了し、生徒が安心して過ごせる環境が整ってきております。

生徒も部活動、学習の両面において熱心に取り組んでおり、5月の高校総合体育大会では、女子総合2位となり、複数の部活動で関東大会、全国大会に出場するなど、素晴らしい成果を上げております。また、秋に行われた県理科研究発表会では、化学部が最優秀賞を受賞し、全国大会へ駒を進めることになりました。

さて、高女の日常に目を移してみたいと思います。高女の朝は活気があります。椎樹館からは吹奏楽部の練習の音が聞こえ、体育館では、新体操部やバレー部、バスケット部の生徒の声が響き渡っています。グラウンドでは、陸上部の生徒がランニングで汗を流し、校舎内では、早朝課外授業が行われていたり、学習室や図書館には、黙々と朝学習に励む生徒の姿があります。

放課後になると、体育館、グラウンド、椎樹館などから、生徒の元気な声や竹刀のぶつかり合う音、音楽部、マンドリン部の歌声や楽器の音が聞こえてきます。その響きからは、元気で盛んな勢いというものを感じます。

時に、昼休みを利用して約2ヵ月にわたり行った3年生全員とのランチミーティングでは、一人一人が思い描いている将来の夢を語ってくれました。どれも皆希望にあふれていて、頼もしい限りです。

この度、定年により高女の校長を辞しますが、今後も活気ある高女が引き継がれ、様々な分野で女性グローバルリーダーとして活躍する人材の育成を目ざして、県内をリードする先進的な取組が進められていくことを願っております。高女同窓会の益々の発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

### 新校長紹介

**大栗（おおくり） 勇一（ゆういち）**

昭和34年生まれ。太田高、早稲田大学教育学部卒。社会科教諭として高崎北高校。県教委文化財保護課を経て、高崎女子高校。県教委学校人事課管理主事・係長・次長・人事主監、校長として伊勢崎高校。伊勢崎市在住。

## 同窓会総会　平成26年5月1日 母校椎樹館

85期　清水清美

今年も多数の会員の方々と学校長をはじめとするご来賓の皆様にご出席いただき、母校椎樹館にて高女同窓会総会が開催されました。尾池校長のご祝辞、ご来賓紹介の後、村田会長を議長に（選出し議事に沿って）議事へと進みました。平成26年度の事業報告に先立ち、岡村副会長から小山副会長へと役員交代の報告の後、（今回は総会後の講演会にお能鑑賞が予定されていたため）皆様のご協力をいただき事業および会計報告は明瞭簡潔とし、滞りなく終了いたしました。校内理事として10名近くの先生方が紹介され、一番若い方が105期とご挨拶されると会場から驚きの声があがりました。多くの同窓生が（大学卒業後に）こうして母校で教員として活躍する姿を、たいへん心強く嬉しく思いました。その他の連絡では、京浜同窓会より総会のご案内、旅行委員会より親睦旅行のお誘い、名簿委員会より今年度予定されている同窓会名簿についてのお話がありました。最後は校歌合唱です。鈴木京浜会長の指揮のもと自然にパートに分かれ美しい歌声が響き渡りました。130名もの参加者があり、随所に母校の伝統と誇り、そして絆を感じさせられた総会でした。お忙しい中ご出席くださった会員の皆様ありがとうございました。

## 同窓会入会式

### 入会の言葉

暖かな風の訪れとともに、木々の芽吹きに春を感じるこの佳き日に、私たち114期生は伝統の重みある高女の卒業証書を手にし、充実した3年間に誇りを感じつつ先程卒業致しました。

3年前、たくさんの期待を胸に歩み始めた高女での高校生活は、多くの出会いがあり、私たちを成長させてくれました。時には優しく、時には厳しく親身になって指導して下さった先生方や、私たちを温かく見守って下さった同窓会の皆様方には感謝の気持ちで一杯です。そして何より、楽しい事つらい事も共有してきた個性豊かな友人たちは、これからの人生できっとかけがえのない存在になることと思います。壁にぶつかり挫けそうな時も友人と励まし合い様々な考え方に触れる中で、一周りも二周りも成長できたように思います。

今日、私たちはこの学び舎を後にしますが、高女で培ってきた事を信じ、社会の荒波にもまれながらも自分らしく日々精進して参ります。

そして、同窓会の名のもと114年に渡り受け継がれてきた長き伝統を担っていく自覚を持ち、高崎女子高校の名に恥じぬよう、向学叡智、清楚品位、明朗闊達の精神を忘れることなく、それぞれの夢や希望に向かって挑戦していく所存です。

結びに、先輩方におかれましては、今後とも未熟な私たちをご指導くださいますようお願い申し上げ、入会の言葉とさせていただきます。

平成27年3月2日
新入会員代表　設楽　玲菜
〈114期　期別幹事〉
設楽　玲菜・小島麻衣子
茂原　未波・藤本　沙絵

## 平成27年度　行事予定表

| 開催日 | 時間 | 行事／場所 | 問い合わせ先 |
|---|---|---|---|
| 平成27年<br>5月1日(金) | 13：45～受付<br>14：00 | 総会・講演会<br>椎樹館 | 86期　光島 祥子<br>090-1880-7178 |
| 6月28日(日) | 12：00～<br>14：30 | 第64回京浜同窓会<br>ホテル椿山荘東京オリオン1 | 87期　三木 智佐子<br>045-894-3414 |
| 9月1日(火) | 10：00～<br>14：00 | 旅行申し込み日<br>椎樹館 | 86期　中村 ひろみ<br>090-8819-4100 |
| 10月18日(日) | | 同窓会親睦旅行<br>横浜方面 | 86期　中村 ひろみ<br>090-8819-4100 |
| 平成28年<br>2月7日(日) | 11：00～<br>14：00 | 新年会<br>高崎ビューホテル | 86期　光島 祥子<br>090-1880-7178 |
| 3月1日(火) | | 同窓会入会式 | |
| 4月10日(日) | | 会報30号発行 | |

※28年度の当番期は87期です

## 平成27年度 同窓会総会及び講演会のご案内

- 開催日　5月1日（金）
  受付　13時45分より
  開会　14時00分
- 場　所　母校椎樹館
  1.総　会
  2.講演会
  演題「狂言のすすめ」
  講師　大蔵流狂言・人間国宝
  山本 東次郎 様

※今年度は、昨年度に引き続き、日本で古来より守られてきた伝統文化のひとつ、狂言の奥深き世界を堪能していただきたいと思います。お誘い合わせのうえ、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。どうぞお楽しみに！

### 山本 東次郎 プロフィール

1937年（昭和12年）東京都杉並区生まれ。徳川幕府の式学の伝承を継承する大蔵流狂言の二代目山本東次郎の長男。山本家は「乱れて盛んなるよりは、むしろ堅く守って滅びよ」という家訓を守る品格の高い家柄である。

1961年に國學院大学日本文学科卒業。1942年初舞台。1972年「獅子智」の復曲で四代目山本東次郎を襲名。著書に「狂言のすすめ」「狂言のことだま」などがある。主な受賞として、1964年に文部省芸術祭奨励賞。1992年と1993年に芸術選奨文部大臣賞。1994年観世寿夫記念法政大学能楽賞。1998年に紫綬褒章。2012年重要無形文化財（人間国宝）認定。1998年から、高崎女子高等学校の教諭を歴任し、2010年に高崎市文化賞を受賞した吉永哲郎先生と二人三脚で、山本家の200曲全曲公演をめざす「狂言を観る会」を発足。ほぼ半分の公演を終えた。

## 同窓会役員の改選

平成26年度の同窓会総会において、左記の方々が再任、新任されました。

（任期2年）

会　長　45期　村田喜代子
副会長　48期(新)　小山八重子
〃　53期　新井　京子
〃　60期　越中喜美子
顧　問　26期　戸塚　咲
〃　52期　吉村　晴子
〃　学校長　尾池　武
〃　副校長　田村　浩一
〃　教　頭　原澤　弘子
〃事務長(主監)　小暮　隆之
会計監査　64期　下村千加子
〃　79期　狩野　君江
理　事　74期　近藤多恵子
〃　79期　瀧川江里子
〃　86期　高橋　智子
〃　86期　荒木奈都子
〃　88期　中島利恵子
〃　89期　松原　恵美
〃　90期　宇津木由紀子
〃　91期　齋藤　春果
〃　102期　石井佳代子
〃　104期　鈴木さち代
〃　105期　鈴木久美子
常任幹事
女41～45　43期　宮下　初枝
高1～4　50期　金井　幸子
高1～4　51期　佐藤　佳子
高5～8　52期　山崎千代子
高9～12　58期　小林登久子
高13～16　62期　須藤まさ子
事務局
高17～20　66期　渡邉やよい
高21～24　70期　綱島千栄子
高25～28　74期　三木　宏子
高29～32　76期　横山美津子
高33～36　81期　馬場恵美子
高37～40　84期　矢嶋　裕子
当番期　85期　笹島ゆう子
〃　86期　清水　清美
京浜同窓会
会　長　50期　光島　祥子
副会長　50期　鈴木　令子
〃　61期　高原すみ江
〃　61期　細田　正子
〃　61期　友永　淳子

※顧問26期の戸塚咲様は、平成27年2月に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

## 2014年 総会 講演会

### 講師　下平克宏先生
### 「幽玄への誘い」を聴講して

85期　堀江かおり

「能楽」というと、これまでの私にとっては、大変敷居の高い世界のように感じていましたが、当日の会場は大勢の同窓生の先輩方が来場され、ほぼ満席という賑わいでした。

一見気難しそうにお見受けした下平先生のお話は、思いのほか気さくで、能になじみの薄い私にもとてもわかりやすく、世阿弥の教えや古いしきたり、能に関わる人々の役割の名称、シテ方、後見などの言葉の由来についても、とても興味深く拝聴しました。

特に共感したのは、古い伝統を正しく伝えることを大切にしつつ、文化とは時代に応じて進化していくものであるというお考えが伝わってきたことです。私は外国の伝統舞踊を10年ほど学んでおり、私の師匠も同じようなことを話されます。国は違っても伝統文化の伝承者の考え方には共通点があるのだと思いました。

ご講演に続き、羽衣天女の装束を身につけるデモンストレーションでは、一枚一枚重ねていく装束の意味、つけ方を解説され、小袖を腰に巻きつけている理由や、様々な面が表す年代、心理状態などについてのお話にも、その都度感嘆の声があがるなど、会場全体が食い入るようでした。

最後は下平先生ご自身による仕舞が披露されました。天女の装束を身にまとった姿は、先ほどまでの先生と同一人物かと疑うほどの美しさで、一気に周囲の空気を飲み込んで、会場全体を別世界へと誘ってくださいました。

聞きなれないはずの謡が、わかりやすいご講演の直後であったおかげか、天女が舞を見せるまでのやり取りやいきさつなど、各場面で表現されていることが、手に取るように理解できた気がしました。その天女の舞によって、真実を理解し心穏やかになったのは話の中の相手だけでなく、その会場にいた全員だったのではないでしょうか。

仕舞が終わり、下平先生が面を外すまでの間、会場全体を何ともいえない静寂が包み込んでいました。

素晴らしいご講演と仕舞で私たちを魅了してくださった下平先生の、今後の益々のご活躍をお祈りいたします。

講師プロフィール

昭和33年高崎生まれ。高崎高校卒。東京藝術大学音楽部卒。観世流能楽師準職分の資格を得る。国指定重要無形文化財総合指定保持者。現在、東京を中心に活動中。

下平先生による「羽衣」の実演

## 新副会長のご紹介

48期　小山八重子

この度平成26年度同窓会総会において副会長に推薦・承認頂きました小山八重子でございます。この伝統ある高崎女子高等学校同窓会の役員として研鑽を積み、皆様方同窓生のご意見をお聞きしより良い同窓会の運営に尽くす所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 退任常任幹事

38期　岡田満州野
47期　馬場　栄子
48期　渡辺田鶴子
51期　岡田　俊子
57期　岡田　玲子
61期　武居　伸枝
65期　宮嵜　朋子
69期　上野由美子
73期　廣瀬　節子
79期　須田　諭美
80期　中山　芳子
83期　遠藤　典子

ご活躍　ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

## 戦時下の学生生活

45期　川野　堂子

私達は、我が国がハワイ真珠湾を攻撃し、第二次世界大戦に参加をした翌年の昭和17年4月に高女に入学した。

やがてアメリカのB29飛行機が上空に飛び、戦争が激しくなるにつれ私達を目がけて機銃掃射もあり生きた心地もなく、校庭に作られた防空壕に逃げた。爆弾が落とされ教室の窓ガラスが粉々に飛び散った時はとても怖かった。

勉学も儘ならない状況下で学校が工場になり、風船爆弾の製造に従事した事は生涯忘れることの出来ない学生生活である。

風船爆弾とは直径10メートル余の紙風船（気球）に火薬を入れた袋をぶら下げ、気流に乗せてアメリカ本土を爆撃しようとするものである。

畳一畳ほどの和紙を張板にのせコンニャク糊を塗り、乾かして又塗りの作業を5回繰り返し厚紙にする。その他、校庭にその張板を並べて天日で乾かす組、乾いた厚紙を裁断し風船の形にする組、羽二重を2枚重ねてドーナツ型や十字型の袋に縫い合わせる組、又火薬を天秤計で計りその袋に火薬をつめる組とその口をミシンで縫い合わせる組と、縫い目に水がしみない様に筆でシンナーの様な液体を塗る組等分業で作業をした。部屋中が強烈な臭いで一杯になった事を今でも覚えている。それぞれの仕事の分担は先生の指示によるものだった。

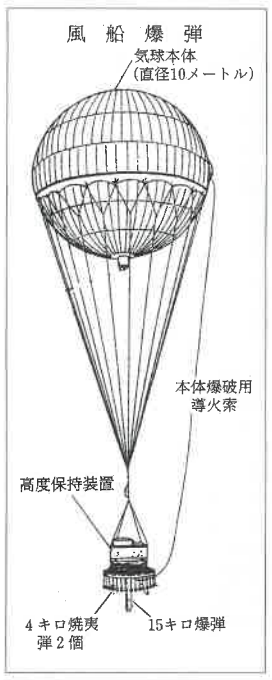
当時は暖房など夢の又夢の時代で寒さはこたえた。指先は白くすき透り血が製品にもにじんだものだ。

この巨大な気球は9300発を飛ばし、その中1000発位がアメリカ本土に届いたと最近のインターネットで知った時は、感慨深く様々な事が走馬燈の様に思い出された。

高崎市は昭和20年8月14日夜半にアメリカのB29飛行機から焼夷弾の雨を浴び、同級生の家も焼けたとの悲しい話も聞いた。

何とも言えぬ感慨の中で翌15日の玉音放送を聞いて、私達の仕事ずくめであった学生生活は終わりを告げたのである。

先生方から「君達は大変な時代に遭遇したね。」というお言葉をしっかり心に刻んで半年後卒業式を迎えた。



## 椎の小径

### 華道

52期　山崎千代子

華道　尚真流生花
花器　竹三重筒
花材　そなれ・白菊

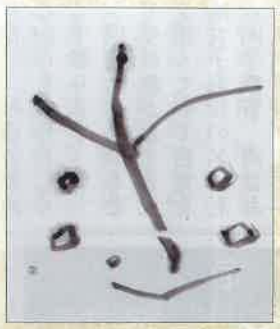
道は果てしなく続いています。精進を重ねていくつもりです。

### 書道

53期　新井京子

雲（云）

象形文字で雲の形を表しています。古墨を磨り、50年前の中国の古紙に美しい墨色と筆線を願い、心をこめて前衛的に書きました。



星

甲骨文字の空に輝く星のことです。清らかな光を放つもの。暢びやかによく澄みわたる様を制作しました。

## 小川町をたずねて

45期　木暮　信子

NHKの風船爆弾の放映を視聴したことから10月26日、私達17名は、秋雨のなか小川駅に集合しました。図書館まで歩いて講師の新田さんの説明を受けました。小川和紙と細川紙の歴史や、第二次世界大戦の、風船爆弾の紙のこともお聞きしました。私達が学校工場で使った紙は小川和紙だったそうです。細川紙は楮だけの伝統的な技法で漉かれた和紙だそうです。

次にタクシーで埼玉伝統工芸会館に行きました。紙を漉く若い女性の姿に戦時中の風船爆弾にかかわった私達を想い感無量となりました。そして平和の尊さ、その中で生きることの有難さを痛感しました。昼食は玉井屋さんで頂きその後高女校歌の合唱で往時を偲び、小川駅で別れを惜しみ解散しました。

尚、日本の文化庁がユネスコに登録を勧告していた細川紙、本美濃紙、石州半紙の、手漉き和紙技術が11月27日無形文化遺産に登録されました。

# 親睦旅行

## 親睦旅行に参加して

86期　中村ひろみ

心まで晴々とする秋晴れの中、会津へと向かうバス旅行に参加させていただきました。

片道4時間の福島への旅で、最初に訪れた会津若松城、通称鶴ヶ城。優美な城の鉄門を潜ると迷路のような城内（くるわ）の造りで、安土桃山時代の城に見られる美しい城と、それとは裏腹な堅固で要塞のような城内は、当時の激しい戦を彷彿とさせました。長い階段を上り、天守閣に到着。四方を見渡せる雄大な景色を堪能しました。

鶴ヶ城の中で、特に目を引いたのは、白虎隊の肖像画でした。官軍との戦いに敗れ、武士の誇りを持って飯盛山で自刃した少年達。彼らと同世代の息子を持つ母親として、胸が詰まる思いでした。

最も楽しみにしていたのがランチライム。120年以上の歴史を持つ海産物問屋の「渋川」で、会津地方の郷土料理を戴きました。趣のある戸を潜ると、レトロで重厚な内装が目に入りました。明治初期の建物は、2m弱と天井が低く、現在の感覚に慣れている私達には圧迫感があり、逆に新鮮でした。ニシン中心の懐石と希少価値の高い会津牛を味わいました。

食後は、七日町通り散策を楽しみました。大正浪漫の街並を歩きながら、家族へのお土産を探しました。

西の空に見えるオレンジ色の太陽に照らされて、道に落ちる影も細長くなり、帰りの時間がやって来ました。帰路のバスに乗り込み、名残りを惜しみながら、福島を後にしました。幹事の皆様が考えてくださった手作りビンゴや高女検定などのクイズ、先輩による笑いを添えながらの健康講座など、愉しい気分で過ごさせていただきました。

沢山のアイデアで、素晴らしいおもてなしをしてくださった幹事並びに、旅行委員会の皆様には、感謝の思いで一杯です。車窓に映る自然の美しさを堪能しながら、改めて高女の伝統と結束力を感じる、素晴らしい旅の思い出が出来ました。

### 平成27年度 親睦旅行へのお誘い

**31階の展望レストランと元町散策**

- 期日　平成27年10月18日（日）
- 行程　高崎駅東口（7時集合・出発）→三渓園→ヨコハマグランドインターコンチネンタル「カリュウ」（昼食）横浜美術館→元町散策→高崎駅（19時半頃）
- 費用　13,000円
- 定員　40名（バス1台）　現地参加　定員30名
- お申し込み方法
  （1）高女椎樹館
  平成27年9月1日（火）10時～12時
  （参加費を添えてお申し込みください）
  （2）電話での受付
  平成27年9月1日（火）15時～20時
  （光島・中村携帯　下記参照）
  電話による受付の場合、9月7日（月）までに振込み
- 振込先
  ゆうちょ銀行　00180-2-729695
- 加入者名　高崎女子高校・高39回同窓会
- お問い合わせ
  光島　祥子　TEL：090-1880-7178
  中村ひろみ　TEL：090-8819-4100

# 京浜同窓会

## 京浜同窓会のご報告

86期　渡辺亮子

第63回高女京浜同窓会が、平成26年7月13日、東京目白の椿山荘にて開催されました。高崎からのご来賓の方々を始め、遠くは秋田から参加された方もいて、総勢115名のにぎやかな宴となりました。

最初に、鈴木令子京浜同窓会長（50期）が、富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に登録されたことをお話しされました。長く故郷群馬を離れていても、県内の施設が取り上げられることを誇りに思うというお話に、皆深く共感しました。

村田喜代子会長からは同窓会の近況をお話し頂きました。尾池校長先生から、高校総体で準優勝したこと、進学の状況などを伺いました。続いて田村副校長先生のご発声で乾杯となり、会食となりました。

40期の淺野さんは、卒寿を迎えられて尚、日々元気に過ごされているそうです。43期の方々からは、卒業が終戦前だったため様々な苦労があったことを伺いました。皆さん、卓球、コーラスと多方面に活動されています。

ミニコンサートは、東砂織さん（86期）のヴァイオリンで、高橋貴子さんのピアノ伴奏と共に、「愛のあいさつ」、「リベルタンゴ」、「情熱大陸」など数曲が演奏されました。

最後に、鈴木会長指揮の下、校歌合唱を行いました。声部毎の練習も恒例となっています。在学中、1年生はアルト、2年生はメゾソプラノで、早く主旋律を歌いたかったことなどが話題になりました。

次回当番幹事学年の87期6名の紹介の後、来年の再会を誓いつつお開きとなりました。

### 平成27年度京浜同窓会ご案内

- 平成27年6月28日（日）
  12時～14時30分
  ホテル椿山荘東京
  オリオン1（プラザ棟5階）
- 会費 10,000円
- 連絡先　87期　三木智佐子
  TEL：045-894-3414

# 期別同窓会

## 京浜六月会

50期　門倉千代子

この会は、京浜東北線車内で島さんが吉田千代蔵先生と出会い、横浜近辺の人達で集まればと言う先生の提案で、「千代蔵先生を囲む会」として横浜中華街の「華正楼」で発足しました。高崎に六月会があるので、「京浜六月会」としました。会の活動も記録し、毎年行ってきました。

還暦、古稀、喜寿、傘寿もあっという間に過ぎ、昨年は小型バスで川越小旅行。今年は思い出の地中華街、萬珍楼で開催となりました。まず、元気な皆様との記念撮影、美味しいお料理を食べながらの歓談、久しぶりに出席の方から近況をお聞かせいただき、又高崎から参加して下さった金井幸子様より、母校の近況等、お話をして頂きました。

その後鈴木令子様の指揮により、校歌や唱歌を合唱して次回幹事を選出し、又の再会を話し合い、楽しく過ごした会も終宴となりました。

## うたごえ『三蓋松』

67期　大川悦子

ついに「前期高齢者」に到達した私達67期です。

平成27年1月24日、エテルナ高崎にて5年ぶりに同窓会が開催されました。

口切りは、90歳を過ぎても向学心旺盛な生物の吉田廣雄先生。高女の変遷や、赴任時に吉田姓の職員が三人在籍されており、"ロング"と言う呼称に落ちついたトリビアをご披露してくださいました。

次に、懐かしい末広町校舎の、当時としては先駆的な天体ドームの設置にご尽力くださった地学の細矢尚先生が、変わらぬ佇まいで乾杯のご発声。

宴の中ほどで表題のうたごえ「三蓋松」と銘打った歌のコーナーに。出席者54名で5曲美しい歌声を響かせました。

締めは、いつまでもスタイリッシュな英語の斎藤薫先生。高女の居ごこちの良さ等を話してくださいました。

最後に、いまや様々なメディアに登場、同期のスーパースター田胡英子（通称英太郎）が、教員退職後に魂を打ち込んでいる"ネットボール"や自身の生き方について熱く語りかつ笑わせ、会を盛り上げてくれました。

半世紀も前に出合った私達、青春時代の掛替えのない三年間を共に過ごせた幸せをかみしめたひとときでした。

# 新年会

85期　大山美和子

同窓会新年会が平成27年2月1日に高崎ビューホテルで開催されました。尾池校長先生を始め4名の来賓をお迎えし、317名が集う大変にぎやかな会となりました。

開会にあたり村田同窓会長のご挨拶では、名簿の発刊と同窓会の長い歴史と伝統にふれられ、続いて今回初めてご参加下さった鈴木京浜会長より京浜同窓会についてお話いただきました。尾池校長先生のご祝辞で母校の後輩の素晴らしい活躍を紹介していただいたあと、田村副校長の乾杯のご発声で会は和やかに始まりました。会場のあちこちで旧交を温め合う歓談の輪が広がり、談笑の花が咲いていました。

アトラクション第一部は、原れい子さん（70期）のシャンソンコンサート。スポットライトをあび「ラストダンスは私に」を歌いながら華やかに登場すると、その艶やかな歌声に心を奪われ、会場中が魅了されました。オリジナルの「夢のつづきを生きて」などをご披露いただいた後のアンコール「愛の讃歌」は思いの込められた素晴らしい歌で、満場の拍手が沸き起こりました。

第二部は同窓会合唱団「コール・椎樹」でした。小林芙佐子さん（65期）の指揮、横塚恵子さん（68期）のピアノ伴奏で女声合唱曲集「二度とない人生だから」より3曲をご披露いただきました。息の合った優しく美しいハーモニーが会場を包み込みました。

締めくくりとなる校歌合唱では、清らかに流れるメロディと響き渡る歌声に母校での思い出がこみ上げ、深い感銘を受けました。

## 86期同窓会

86期　光島祥子

平成26年11月16日、エテルナ高崎にて、86期同窓会が開催されました。八木毅先生、小林馨先生、大川清子先生、羽鳥進一先生に御出席いただき、参加者80名ほどの盛大な会となりました。

卒業以来初めての学年全体の同窓会でしたが、受付が高女の体操着を、司会が高女の制服をという演出に、すぐに会場は明るく和やかな雰囲気に包まれました。

まず、来たる平成27年度の期別幹事の活動についての説明。次に恩師紹介と挨拶。乾杯の後、歓談となりました。先生方にご登壇いただき、花束と記念品の贈呈が行われ、最後は校歌斉唱で締めくくられました。

短い時間でしたが、思い出話に花を咲かせたり、友情を再確認したりと、大変有意義に過ごすことが出来ました。

まだ話し足りなかったのでしょう。二次会には、多数の方が参加されていました。

# 母校の近況

## ◉吹奏楽部　心に響く演奏を

吹奏楽部は5月に行われた群馬県ソロコンテストでフルートの3年生が金賞を受賞しました。また、8月に行われた群馬県吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、4年連続西関東大会への出場を果たしました。また、9月に山梨県で行われた西関東大会では銅賞を受賞しています。11月の群馬県アンサンブルコンテストではフルート四重奏が金賞受賞、1月の西関東アンサンブルコンテストでは銀賞を受賞しました。また、大会だけでなく昨年度25回を迎えた二葉高等養護学校の生徒の皆さんとの交流会や先日群馬音楽センターで行われた第23回定期演奏会など、地域の方々との交流にも力を入れています。部員76名という学校一の大所帯ではありますが、全員で協力しながらこれからも日々の練習に励んでいきたいと思います。

（2年　鈴木萌香）

## ◉陸上部　「その日」目指して

昨年度、陸上部ＯＧ松樹会は創立50周年を迎えました。伝統ある陸上部ですが、伝統をただ守るだけではなく、個人・種目・各学年のカラーを加えながら部員全員で創り上げる過程を楽しんで活動しています。陸上競技の勝負の世界の楽しさや厳しさ、その奥深さを感じながら今日も戦っています。底抜けの明るさを武器に、目指すべく勝負の「その日」を迎えるために。

今年度もインターハイや多数の関東大会（駅伝も含む）に出場し、競技者ならば誰もが憧れる大舞台において、同世代の選手との真剣勝負を楽しんできました。ぎりぎりのところでの勝負強さにいつも心を動かされています。

さて、もうじき新しいシーズンがはじまります。部員達とそれぞれの想いを胸に、目指してきた「その日」を迎えようとしています。「感謝を力に！感動を力に！絆を力に！群馬県立高崎女子高等学校陸上競技部ファイト・オー！」。高校総体の早朝、このエールが勇ましく競技場に響き渡ることでしょう。

そして、彼女達はいずれ陸上部から巣立っていきます。彼女達の今後の人生に待ち受けているそれぞれの「その日」を、陸上競技を通して体得したことを強みとして、たくましく迎えて欲しいと願っています。

（顧問：細山恵里）

## ◉2つの甲子園

○「食withレシピ甲子園」に参加して

1年　深津　里佳

私は、読売新聞社主催「食with レシピ甲子園」に出場し、2位に相当する京都女子大学優秀賞を受賞しました。全国2316通の応募の中から8名が選ばれ、最終審査会に出場しました。本大会のテーマは、「健康・笑顔の朝ごはん」。ちょうど家庭クラブで「朝食で高女生を元気に！！」というテーマで朝食に関する研究活動が行われており、また食物部員としてできることはないかと考え、大会にエントリーしました。作品名は「さっぱり和風モーニングプレート」とし、地元の食材を使い、バランスが良く朝でも食べやすいメニューを考えました。最終審査会では、60分以内で3人分を調理し、その後、3分ほどの面接を受けました。母から包丁さばきなどを教えてもらい、その甲斐もあって本番でも落ち着いて調理を行うことができ、また、面接ではレシピのポイントをアピールできました。これからも食物部の活動を通して、生活に必要不可欠なスキルを身につけたいと思います。また、食物部及び家庭クラブの活動がより活性化し、多くの高女生に食への興味・関心を持ってもらえることを願っています。

○エコノミクス甲子園出場

1年　七五三木　縁　　高木　南緒

私たちは12月に行われ全国銀行協会主催の「エコノミクス甲子園」という経済のクイズ大会に参加し、県大会で優勝しました。県内高校から28チームが参加し、高女は初出場で初優勝でき、とてもうれしく思います。この大会に参加するまで経済を学んだことはあまりなかったので、全国大会に向けて勉強に励み、全国では40校中上位15校に入ることができました。県代表として、全国の高校生と恥ずかしくない戦いができたと思います。

## ◉主な部活動成績　（平成27年3月18日現在）

**《体育部》**

・県高校総体　女子総合2位

・関東大会以上の出場、受賞等

弓道部　個人（1名）関東大会 準優勝

陸上部　個人（1名）北関東大会 走高跳6位入賞　インターハイ出場

山岳部、ハンドボール部、剣道部、ソフトテニス部（4名）関東大会出場

**《学芸部》**

・関東大会、全国大会での受賞等

マンドリン部　全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール 優良賞

音楽部　全国総文 合唱部門出場　関東合唱コンクール 銀賞　NHKコンクール関東甲信越ブロック 奨励賞　関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト 金賞

百人一首部　全国総文 競技の部 群馬県チーム3位（1名出場）、関東大会 群馬県チーム（1名出場）

放送部　全国総文出場　関東大会出場　NHK全国高校放送コンテスト出場

化学部　県理科研究発表会 最優秀賞　来年度全国総文自然科学部門出場

吹奏楽部　西関東吹奏楽コンクール 銀賞、西関東アンサンブルコンテスト フルート四重奏 銀賞

書道部　全国学生書道展（団体）全国優秀　（個人）半紙の部 全日本書道連盟賞

**《その他》**

・全国高校生金融経済クイズ選手権エコノミクス甲子園　全国大会出場（2名）

・食 with レシピ甲子園　京都女子大学優秀賞（1名）

・全国高校生読書体験記コンクール（1名）優良賞、中央選考委員会 優良賞

・全国読書感想文コンクール課題図書の部 優秀（2名）

## ◉平成27年度大学入試 合格者一覧　現役+過年度卒（　）内卒　平成27年3月30日現在

| 【国立大学】 | | 東京農工大学 | 2(1) | 秋田県立大学 | 1(1) | 【私立大学】 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道大学 | 3 | 横浜国立大学 | 3 | 福島県立医科大学 | 1(1) | 青山学院大学 | 14 |
| 北海道教育大学 | 1 | 新潟大学 | 6 | 群馬県立県民健康科学大学 | 2 | 学習院大学 | 3 |
| 北見工業大学 | 1 | 上越教育大学 | 2 | 高崎経済大学 | 13(1) | 北里大学 | 9(2) |
| 東北大学 | 4 | 富山大学 | 3(1) | 群馬県立女子大学 | 8 | 慶應義塾大学 | 3 |
| 山形大学 | 2(1) | 金沢大学 | 3 | 前橋工科大学 | 3 | 国際基督教大学 | 1 |
| 茨城大学 | 3 | 福井大学 | 1 | 埼玉県立大学 | 1 | 上智大学 | 8 |
| 筑波大学 | 12(1) | 信州大学 | 4 | 首都大学東京 | 3 | 中央大学 | 21(5) |
| 群馬大学 | 46(7) | 名古屋大学 | 1(1) | 横浜市立大学 | 2 | 津田塾大学 | 4 |
| 埼玉大学 | 9(1) | 大阪大学 | 1 | 新潟県立大学 | 1 | 東京女子大学 | 24(1) |
| 千葉大学 | 7(1) | 奈良女子大学 | 1 | 富山県立大学 | 1(1) | 東京理科大学 | 13(4) |
| お茶の水女子大学 | 2 | 大分大学 | 1 | 山梨県立大学 | 2 | 東洋大学 | 33(3) |
| 一橋大学 | 1 | 琉球大学 | 1(1) | 都留文科大学 | 2 | 日本大学 | 33(3) |
| 東京大学 | 1 | 合　計 | 138(16) | 兵庫県立大学 | 1 | 日本女子大学 | 12(1) |
| 東京工業大学 | 1(1) | 国公立大医学部医学科 | 9(3) | 県立広島大学 | 1 | 法政大学 | 23(1) |
| 東京外国語大学 | 3 | 【公立大学】 | | 合　計 | 44(4) | 明治大学 | 20(2) |
| 東京海洋大学 | 1 | 国際教養大学 | 2 | | | 立教大学 | 25(4) |
| 東京学芸大学 | 12 | | | | | 早稲田大学 | 11(2) |
| | | | | | | その他 | 400(42) |
| | | | | | | 合　計 | 657(70) |

# おたより

52期　和田牧恵

## グラウンドゴルフ初体験

私達は、77歳の全体同窓会を最後とし、その後希望者の集まり（毫楽会・97名）に移行しました。以来春と秋に通信を発行し、通信ごとに行事を2回ずつ持ち、活溌に活動しています。通信5・6号で呼びかけた今年の行事を紹介します。

春は、新装成った歌舞伎座で玉三郎の艶やかな姿を観賞し、また観音山での散策も楽しみました。

秋10月には高崎市の出前講座を利用して、城東グラウンドゴルフ場でグラウンドゴルフを体験しました。スポーツ課の方に説明を受けた後、16人が3グループに分かれ、芝生の8ホール目指してボールを打ちました。スティックもボールも本当のゴルフとは違いますが、参加者の殆どは初体験で、キャーキャー言いながら楽しくボールを追い、気付かぬうちに結構たくさん歩いていました。

経験者と全くの初心者もスコアにそれ程の差は出ず、皆で軽いスポーツを楽しみました。その後近くのレストランで昼食を摂り、そこでの話も弾み、爽快な一日を過ごしました。

11月には、同期で現役の耳鼻科医のTさんを囲み、昼食会を持ちました。45名の参加希望があり、年齢に伴うからだの変化を学びながら、おしゃべりも楽しみました。

高齢でも元気でいる秘訣は「キョウイクとキョウヨウ」だそうです。「今日行く所がある」と「今日用がある」です。

高校三年間、一度も同じクラスにならず余り親しくなかった同期の方々も多くおられます。でも毫楽会になってから同じ趣味を楽しんでいる方がみつかったり、孫が同学年だったり・・・・・と笑ったり話し合える友人が出来てうれしいことです。

同年代を生きて来た友と手を携えて、これからも前向きに歩いて行きたいと思っています。

## 顕彰

52期　田中富士子（ずいはそうこうこしょう）さん

瑞宝双光章

長年の学校医としての貢献に対する叙勲

# 同好会だより

## 高校OGゴルフ戦で準優勝

64期　中村志津子

「準優勝　高崎女子高校」

9月4日に上毛森林カントリークラブで行われた、県下高校OG対抗ゴルフ選手権の成績です。

今回は14校から150人が出場。高女チームは40才代から70才迄の13人がエントリーしました。各校の上位6人のスコアーで順位が決まるので、選手一人ひとりは一打の重さのプレッシャーと戦いながら試合に臨んでいます。

渋川女子高校に優勝は譲ったものの、60才以下の部に3人、60才以上でも3人が上位に入り、若手とベテランがうまくかみ合い、27年ぶりに勝ちとった快挙です。

前回は10位。真摯に取り組んでいるのに結果がついて来ない。ジレンマと悔しさのみが残った表彰式でした。

やはり「勝ちたい」「絶対勝たなければ」を胸に秘め、雨の日も猛暑の中でもゴルフ場に足繁く通い、技術の向上と団結力の絆も深めました。その結果、準優勝という栄誉を手に入れ、歴代優勝校のボードに名前を刻むことも夢ではなくなりました。

選手にいつも応援して下さるゴルフ愛好会「どんぐり会」の皆さんや同窓会長の村田さん、多勢の方々に感謝申し上げます。

# 名簿について

平成26年10月下旬、5年ぶりに会員名簿が完成しました。購入申込みをされた皆様のお手元に届いたと思います。

名簿の発行に際して、多くの同窓生のご協力をいただきましたことに、心より感謝いたします。

また、広告協賛の方、賛助会費お支払の方々に、厚くお礼申し上げます。

今回の名簿は、旧制女学校時代からの通期の卒業回期での掲載になりました。新制高校からの卒業生は、ご自身の卒業回期に「47」を加えて卒業回期にしていただきますようお願いいたします。

古い名簿の処分にお困りの方は、責任をもって処分いたしますので、総会・期別幹事会時に母校までお届け下さい。古い名簿の回収は平成28年12月までにお願いします。

# 同窓会からのお願い

**①同窓会維持費納入について**

皆さまご承知の通り、同窓会は会員各位が納入される維持費によって、総会をはじめとする諸行事の運営、学校行事や部活動の応援など多岐にわたる活動をしております。

皆々さまには、常々同窓会の運営や活動にご協力いただき心よりお礼申し上げます。

平成26年度よりコンビニからも維持費納入が可能となりましたので、今後共なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

**②個人情報の変更について**

諸事情（改姓・転居など）による変更がありましたら、本部または各期別幹事さんにご連絡下さい。

**③その他**

同窓会運営に関するご意見や期別同窓会の報告などを、本部宛にお寄せいただけたら幸いです。

宛先　370-0062　高崎市稲荷町20　県立高崎女子高校　同窓会

# あとがき

弥生（三月）になり同窓会入会式がありました。114期生が整然と入場しお仲間になりました。目映（まばゆ）いばかりの若さ、希望に脹らんだ顔美しく輝いています。そして卯月（四月）入学式。会報の発刊になります。29号の編集は順調に進みました。今回は原稿の依頼、締切を早めにしましたので12月には大よそ回収できました。頁担当者は編集方針に則り協議し読み易く品位のあるものにと心掛けました。

当番期の方々には年間行事の総会、講演会、京浜同窓会、旅行、会員名簿の発刊、常任幹事会、期別幹事会、新年会、編集委員会（約10回）すべての裏方として協力いただき滞りなく運営できています。感謝しております。

今年度より発刊を4月10日にしました。一同鋭意努力しました。

会員の皆様のご意見等お寄せいただければ幸いです。

53期　新井京子

## 編集委員会

45期 村田喜代子
53期 新井京子
50期 金井幸子
65期 宮嵜朋子
70期 三木宏子
73期 廣瀬節子
75期 羽鳥康子
80期 北村久美子
83期 根岸真美
84期 井野口理恵
85期 大山美和子
86期 光島祥子

48期 小山八重子
60期 越中喜美子
52期 山崎千代子
67期 齋藤信子
72期 林いずみ
74期 冬木嘉子
79期 狩野君江
82期 田中路子
83期 山田泉
84期 金井美奈子
85期 藤本ゆみ
86期 中村ひろみ

## 事務局

79期 瀧川江里子
86期 高橋智子
102期 石井佳代子